

令和7年度 外国語科・外国語活動 授業改善推進プラン

大田区立馬込第三小学校

外国語科（高学年）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の全ての領域、「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点とも、目標値を10ポイント程度上回っている。昨年度課題だった「アルファベット」についても、音と文字とのつながりを指導し、書く活動を採り入れたことにより、定着が見られつつある。
- ・日常生活に関する対話を聞き、目的や場面、状況などを推測することができた。

(2) 課題

- ・音声を聞き、活字体の大文字、小文字を正しく書く力をさらに向上させる。
- ・例文を参考にしながら、自分のあこがれの人について、簡単な語句や基本的な表現を用いて書く力を向上させる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

|      | 令和7年度結果     | 令和6年度結果     | 令和5年度結果 |
|------|-------------|-------------|---------|
| 第6学年 | 達成率は約9割である。 | 達成率は約8割である。 |         |

達成率とは、目標値<sup>※1</sup>以上の正答率<sup>※2</sup>だった児童の割合  
 $\text{目標値以上の児童数} \div \text{受験者数} \times 100 (\%)$   
 例えば、達成率が7割ということは、目標値に達成した児童の割合が7割ということ。全体の児童が100人としたら、目標値に達しているのは70人で残りの30人は、前年度の基礎的な内容の定着に課題があることを示す。

※1 目標値とは、調査において前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される正答率の値

※2 正答率とは、出題数に対する正解した問題数の割合

(2) 分析（観点別）

高学年

| 知識・技能           | 思考・判断・表現        | 主体的に学習に取り組む態度    |
|-----------------|-----------------|------------------|
| ・目標値を大きく上回っている。 | ・目標値を大きく上回っている。 | ・意欲的に学習に取り組んでいる。 |

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### 高学年

| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞くこと」に関しては、身近で簡単な語や表現を理解できるよう、引き続き音声を聞かせ定着を図る。</li> <li>・アルファベットに関しては、音声と文字を結び付け、文字指導の時間を確保する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTや友達とやり取りする場面を意図的に増やし、表現する力を高められるようにする。</li> <li>・基礎知識を会話文ややり取りに活用し、英語を使って書く力を高められるようにする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的・場面・状況の明確な必然性のある言語活動を行う。児童が主体的に考え、自ら学習を進める形式の活動を行う。</li> <li>・Tokyo Global Gateway での体験学習を通して、Nativeの方を相手に、英語を実際に使う機会を設ける。</li> <li>・English Room 新設、English カフェの実施など、英語に親しむための環境を整える。</li> </ul> |

#### 外国語活動（中学年）

##### 1 昨年度の取り組みにおける成果と課題

###### (1) 成果

- ・第3学年は担任とALT、第4学年は専任講師とALTの2名体制で授業を行っていた。ALTと担任、専任講師とのチーム・ティーチングで授業を行うことで学習活動の幅が広がった。
- ・タブレット端末を活用し、ゲーム要素を取り入れた活動の中でコミュニケーションを図り、外国語の発音や表現を楽しみながら慣れ親しむことができた。

###### (2) 課題

- ・ゲーム要素を取り入れた活動が中心ではあるが、英語を使った説明では、ゲームのルールが分からず活動に参加することが難しい場面が見られた。よって、ジェスチャーや簡単な英単語を使って、ルールが理解できるように工夫する。
- ・英語を使った活動に意欲的に参加する場面と活動の仕方が分からない場面など、コミュニケーション活動への取り組みに違いが見られた。そのため、簡単な語句や表現を何度も繰り返し、定着を目指す。

### 2 授業改善のポイント（観点別）

#### 中学年

| 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から簡単な英単語を用いることや、ジェスチャーをすることなど、全身を使って外国語のリズムや音に慣れ親しむ機会を設ける。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な語句や表現の練習をした後に、児童が主体的に友達や教師とコミュニケーションを図れるよう、発話の必然性がある場面を設定する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの発音やデジタル教材の音源を使用し、日常生活に関する身近な単語を聞き取る活動を多く取り入れる。</li> </ul> |